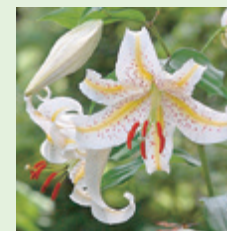


広報 ㊦
No.738
令和7年

いいたて 8

www.vill.iitate.fukushima.jp





野山に自生する
ヤマユリ。「村の
花」です。

目次 CONTENTS

- 02 話題「ホタルが舞う夏の夜に」
- 04 特集「飯館村地域おこし協力隊」
- 10 学びの広場「たなばた会」ほか
- 11 生涯学習のページ「スポーツ交流会」ほか
- 12 お知らせ「安心・安全な水を村民のもとへ」
- 14 空から百景「星降る飯館」
- 16 お知らせ「第7次総合振興計画」
- 17 お知らせ「ふるさと納税に新たな返礼品」
- 18 いいたて便り
- 20 話題のパレット
- 22 村からお知らせ
- 24 なりわいREPORT
- 25 歴史の散歩道／ふれ愛館だより
- 26 いいたてPHOTOリレー ほか
- 27 愛楽故郷味／ひとのうごき
- 28 ほっとNEWS ほか

📷 今月の表紙



元飯館村地域おこし協力隊で「工房マートル」のキャンドル作家・大槻美友さんが、いいたて希望の里学園に勤務していた三浦有矢先生と結婚。入籍の当日、撮影にご協力をいただきました。美友さんが手にしているのは高橋日出夫さん（関根・松塚）が育てたデュモサ（スターチスの一種）のブーケです。P 4の特集記事もご覧ください。

村はイベントや取り組みを取材し広報紙やホームページに掲載しています。写真掲載に不都合がある方は、お手数ですが、村づくり推進課企画定住係 ☎0244-42-1613 までお知らせください。

ホタルが舞う夏の夜に 淡い光が飯館の夏を静かに彩っています

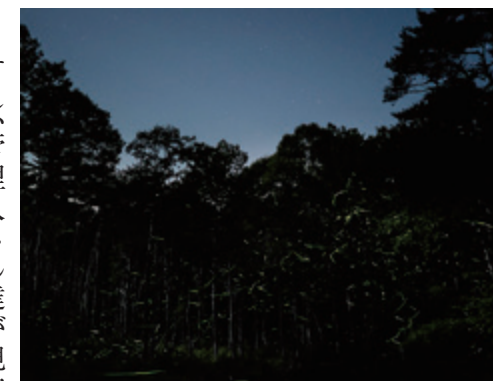


村民の森あいの沢の木立の中で

7月上旬から中旬にかけて、村民の森あいの沢の夜を、ホタルの光が彩りました。

上下2枚の写真を撮影したのは、あいの沢で星空やホタルを撮影している仙台市の中村春太郎さん。彗星を撮影する場所を探していた時期にこの場所に巡り合い、数年前からあいの沢を訪れているそうです。

「あいの沢のキャンプ場は他に比べて涼しく過ごせま



あいの沢から古今明線に向かう林で。

すし、管理人さん達が親切。（復興が進んで）村が変わっていく様子を見ることが楽しみに訪れています」と中村さん。静かで明かりが少ないあいの沢の環境は、多くの写真愛好家にも人気のスポットです。



寺井さん(左)と金子さん。

ゲンジボタルとヘイケボタルが共に暮らす長泥地区 大林組・技術研究所が3年間にわたり調査を行いました

2枚の写真の撮影者は、大林組の調査に参加する株式会社緑生研究所の金子賢太郎さん。



ゲンジボタル



ヘイケボタル

長泥地区でホタルを調査しているのは、大林組・技術研究所自然環境技術研究部の皆さん。環境再生事業の盛り土工事が終了するのに伴い、「何か地域の今後に役立つことを」と始められた取り組みです。

「(特定復興再生拠点区域等での)避難指示解除に向けた社内のワーキングから構想が生まれました」と振り返るのは、当初から調査に携わる同研究部の寺井学さん。初回の調査は、解除直後の令和5年5月から7月にかけて行われ、ホタルが生息している場所や生息数(成虫確認数)の記録を長泥行政区に提供しました。続いて令和6年・7年と調査は3年間に及んでいます。調査により明らかになったのは、ゲンジボタルとヘイケボタルが同じ場所で見られること。寺井さんによると「光を放つ時間帯や出現する期間が少しずつ異なりますが、約10か所の同じ場所でゲンジとヘイケが見られます」。今年は両生類の調査とセンサーカメラによる哺乳類の調査も合わせて行っているそう。「長泥地区はホタルにとって、ものすごくいい環境だと思います。飯館の子ども達に気軽に見てもらえるような機会ができればと夢見ています」。



▲ゲンジボタル



▲ヘイケボタル

6月30日、元飯舘村地域おこし協力隊で「工房マートル」のキャンドル作家、大槻美友さんが、いいいた希望の里学園に勤務していた英語教諭の三浦有矢さんと入籍しました。飯舘村に暮らして出会い、一つの家庭を築くことになった2人。村にとっても、とてもハッピーなできごとです。

出合いは一昨年の夏。2人を結び付けたのも協力隊の仲間達でした。カフェと食堂を営んでいた横山梨沙さんの店舗で偶然に出会い、

元協力隊の大槻美友さんが、飯舘村で出会った三浦有矢さんと結婚。新しい家庭が誕生しました。



いいいた希望の里学園の在任中は村の教員住宅に暮らしていた有矢さん。現在は村内の自宅から南相馬市内の中学校に通勤しています。また「ふくしま駅伝」に飯舘村チームの一員として5年連続で出場中です。美友さんも三浦姓になりましたが、作家活動は旧姓で続けます。

居合わせた二瓶麻美さんが連絡先の交換を勧め、2人の背中を押してくれたそうです。

「出会った時から暮らしが想像できる人でした。穏やかで面白くて、ずっと笑っていられます」と美友さん。有矢さんは「笑顔が素敵な人だと思いました」と出合いを振り返り、「笑顔があふれる暮らしを続けていきたい。どんなステージにいても、互いを尊重し合える関係でいたいですね」と微笑みま



展示会の情報やワークショップの予約などはインスタグラムから。



Instagram

大槻美友さんのアトリエ 工房マートル

飯舘村草野大師堂127
休 不定休(主に木～日曜日が営業日)
営 平日は午前11時～午後4時
土日曜日は午前10時～午後4時

空き家を購入し車庫だった建物を改装。今年の春に工房を移転しリニューアルオープンしました。



菓子工房Cocitto (P6) の菓子



松尾さんのコーヒースタンド



いいいたて結い農園 (P8) のエゴマ畑



二瓶さんの「山の向こうから」



大槻さんのボタニカルキャンドル



改装中の図図倉庫で右が松本さん



人気の食堂を営んだ横山さん



あがべご訪問看護ステーション (P8・9)



エムケーファーム (P9) のミニトマト

飯舘村に新たな風をもたらす ふるさとの担い手達 飯舘村地域おこし協力隊

令和元年に松本奈々さんが飯舘村で初めての地域おこし協力隊に就任してから、現在までに8人のフリーミッション型協力隊が誕生し、そのうち5人が、3年間の任期を終えて卒業しました。現在活動中のフリーミッション型協力隊は、令和6年以降に着任した3人。昨年度から採用が開始された企業雇用型協力隊は、現在10人が活動中です。

卒業した5人は、在任中に起業し図図倉庫を運営する松本さん。クラフトマルシェ「山の向こうから」を企画・運営している二瓶麻美さん。村に工房を構えるキャンドル作家の大槻美友さん。秋田県で地域おこしに関わった後に村へ戻り現在は企業で仕事をしながらコーヒー豆販売の準備を進める松尾洋輝さん。また、カフェと食堂を切り盛りしていた横山梨沙さんは、村で出会った警察官の彼と結婚し、伴侶の県外異動に伴い惜しまれながら転出しています。

飯舘村をフィールドに選び、道なき道を開拓し、人生を歩んでいく皆さんの足跡は、村の新たな宝物です。

「地域おこし協力隊」は、条件不利地域の活性化を目指す国主導の制度です。令和6年度の全国の地域おこし協力隊の隊員数は、前年度から710人増加し7,910人となっています。取り組む自治体数は、前年度から12団体増加し1,176団体となり、受け入れ可能な自治体1,461団体の約80%に達しています。

地域おこし協力隊とは 全国的な広がり と飯舘村の取り組み

「地域協力活動」で地域の活性化に貢献

地域おこし協力隊は、人口減少や高齢化などの進行が著しい過疎地域等の条件不利地域に、都市地域から移住（住民票を異動）し、各自治体の委嘱を受けて活動します。任務は、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事などで、加えて「地域協力活動」を行いながら、地域への定住・定着を図ります。隊員の任期は概ね1年以上、3年以下とされています。

地域おこし協力隊は、地域外の新しい視点を持ちながら地域で生活し、「地域協力活動」を行うことで、地域の活性化に貢献します。任期終了後の定住率は、全国平均で約70%となっており、飯舘村ではさらに高い割合で元隊員が定着し、村民として、また、「ふるさとの担い手」として、それぞれの道を歩んでいます。

飯舘村地域おこし協力隊について

飯舘村では、令和元年度から地域おこし協力隊の取り組みに参画し、フリーミッション型の隊員を累計で8人採用してきました。また、令和6年度からは企業雇用型の隊員の採用も開始しこれまでの累計で11人を採用しています。

その他、募集の詳細情報は、いいたて移住サポートセンター「3ど」
☎ 0244-68-2850 ✉ iju@iitatelife.jpまでお問い合わせください。



WEBメディア
3どでも情報
を発信中！

「現在の居住地」に要件があります

条件不利地域に該当しない地域（3大都市圏または地域都市など）に住民票があり、かつ活動開始日に飯舘村内に転入できる方が対象です。
※活動開始日は協議の上決定します。

総務省が地域おこし協力隊の定住・定着状況について全国調査をしています

令和6年3月31日までに任期を終了した隊員は、累計で1万2,682人です。そのうち平成31年4月1日から令和6年3月31日までの5年間に任期が終了した隊員の定住状況等について、総務省が調査を実施し、集計結果を公表しています。

集計結果によれば、平成31年4月1日から令和6年3月31日までの5年間に任期を終了した隊員は8,034人で、そのうち約68.9%（5,539人）の隊員が、任期終了後も同じ地域に定住しています。

飯舘村では任期を終了した5人の隊員のうち令和7年7月現在で80%（4人）が定住しており、転出した1人についても家族の人事異動に伴うやむを得ない転出でした。

それぞれの目標を掲げ フリーミッションで 地域おこし！

令和7年6月着任
牛骨ラーメン開発中！ 秋山聖奈さん

誰でも気軽に来られる、ゆくゆくは村を発信できるような店にしたい。店を軌道に乗せ、ずっとここで暮らしていきたい。



profile
聖奈さんは青森県八戸市、夫の齊さんは飯舘村の出身です。ラーメン店の開業に向け「飯舘らしいラーメンを」と牛骨ラーメンの試作を続けています。店名は「麺屋骨道」に。

令和7年4月着任
臨床アーツセラピスト 小幡葉子さん

飯舘村の人と自然にとっても惹かれてニュージールランドから移住してきました。どうぞよろしくお願いいたします。



profile
臨床アーツセラピスト。心理カウンセリング、身体心理セラピー、アートセラピー、ダンスセラピーやボディワークを通じて、心と体のケアをサポートしていきます。

現役の
フリーミッション型
協力隊です！

任期中のフリーミッション型協力隊の隊員は、こちらの3人です。飯舘村で実現したい目標を掲げ、決して平坦ではない道を、一歩一歩進んでいます。どうぞ皆さんも応援してください。

令和6年3月着任
菓子工房Cocittoをオープン！ 高橋洋介さん

たくさんの方に助けていただき、開店までたどり着くことができました。新しい特産品の開発にも邁進していきます。



profile
「美しい村で発見のある菓子をつくりたい」と飯舘村地域おこし協力隊に志願。今年4月に念願の菓子店をオープンしました。村の農産品を使った焼き菓子やケーキが人気です。

フリーミッション型協力隊 の募集について

定員に達したため、現在は新たな募集を行っておりません。フリーミッション型での応募をご検討の方は、恐れ入りますが、募集の再開をお待ちください。

飯舘村地域おこし協力隊

令和7年4月着任
あがべご訪問看護ステーション

旧姓・齋藤
小泉 涼花さん

飯舘村を活性化できるような活動をしていきたいと思えますので、よろしくお願ひします！



看護師として訪問看護を担当。利用者向けのイベント開催にも取り組んでいます。「同じ職場の協力隊の井口さんと協力をして活動を進めていきたい」と考えています。

profile

令和7年2月着任
株式会社二瓶刃物

はるか
小泉 悠さん

楽しく学んでいます。一人前になり、包丁づくりを任せてもらえるところまで、この工房で頑張っていきたいです。



「刃物づくりを学んでみたい」という転職を通して、図らずも隊員になりました。左隣の齋藤隊員とこの7月に入籍。飯舘村では初めての現役隊員夫婦になりました。

profile

企業雇用型協力隊として活躍する皆さんです！

令和6年度から採用を開始した企業雇用型地域おこし協力隊の隊員は、村内の事業所に勤務し、事業者と共に、地域の賑わいづくりに取り組んでいます。協力隊としての任期は3年間ですが、その後も定着して仕事ができることを前提に募集をしています（詳細は事業所ごとに定めています）。令和7年7月現在、村で働く企業雇用型の隊員は10人。その多彩な顔ぶれを、皆さんに紹介します。それぞれの想いにも耳を傾けてみてください。飯舘村で暮らして働く、頼もしい担い手の皆さんです。

※昨年8月から株式会社エムケーファームで勤務していた寺島翔太さんは、体調を崩し、やむなく任期途中で卒業しましたが、その後も村に足を運んでくれています。

村内企業と共に
地域おこし！
多彩な人材が活躍中

隊員募集中！

- 株式会社エムケーファーム(追加募集中)
- 株式会社二瓶刃物(追加募集中)
- 一般社団法人飯舘村振興公社(募集中)
- 社会福祉法人いいたて福祉会(募集中)
- 株式会社サガデザインシーズ(募集中)
- 株式会社RISESAPUR(募集中)
- 株式会社ハシドラッグ※飯舘店(募集中)

令和7年4月着任
株式会社サクラ・シスターズ

まこ
下野 真心さん

海の近くで育った私は水辺が好きで、お気に入りの場所はいっぱいあります。お気に入りの場所を発信していきます。



峯岸ひろ社長がプロデュースする台湾人と日本人のパフォーマンスユニット「福島も娘 from Taiwan」の第2季メンバー。飯舘村はもとより福島県をPRします。

profile

令和7年4月着任
株式会社エムケーファーム

白鳥 茂さん

家庭菜園ができる程度に農業を学ぶつもりが農場の主担当に。「地域寝かせ協力隊」とならないよう、苦闘を続けております。



前職は国立感染症研究所の研究職員。学生時代から30年以上研究に力を注いできました。これからは仕事をセーブしゆとりのある暮らしを」と移住。古民家を改装中です。

profile

令和6年10月着任
一般社団法人いいたて結い農園

堀川 洋子さん

毎朝のラジオ体操とストレッチが日課です。定刻のお寺の鐘を遠くに聞きつつ、凛とした澄んだ空気を楽しんでいます。



まちづくり・村づくりの研究者。村の人の記憶や原風景を大切にしながら、作物の高付加価値化や販売戦略に携わり、飯舘村全体の持続的発展に貢献したいと考えています。

profile

令和6年5月着任
あがべご訪問看護ステーション

井口 栄子さん

丁寧なコミュニケーションを心がけ、皆さんの中に入って地域につながりをつくっていききたいと思っています。



いいたてクリニックの本田徹医師の取り組みに感銘を受け、村への移住を決意。看護師としての仕事はもちろん、さまざまなコミュニティとつながり活動を広げています。

profile

令和7年7月着任
株式会社MARBLiNG(図図倉庫)

樋口 裕一さん

自身のプロジェクトもあり、ものづくり作業ができる小屋を探しています。お借りできれば片付けや草刈りを手伝います！



屋台造形作家、地域おこし、グラフィックデザイン、シェアカフェ経営などを経験してきました。図図倉庫で、ガーデンショップの商品開発や造形物製作に関わっていきます。

profile

令和7年7月着任
株式会社MARBLiNG(図図倉庫)

下西 悟史さん

図図倉庫のテーマでもある「環世界」を学んでいます。協力隊の横のつながりも持てた方がいいですね。郷土料理も楽しみたいです。



神奈川県でコネクタを設計するエンジニアをしていました。「今までやっていなかったことにチャレンジしたい」と協力隊に志願しました。図図倉庫の業務を担当します。

profile

令和7年1月着任
株式会社サクラ・シスターズ

ゆうこう
相澤 裕豪さん

近隣市町村と協力し自治体をまたいだ活動も進めていきたいと思っています。1日でも早く村に溶け込めるよう努力します！



半導体関係の輸入業を営み、主に台湾と貿易を行っていました。現在は、峯岸ひろ社長がプロデュースする「福島も娘 from Taiwan」の事務局を担当しています。

profile

令和6年10月着任
一般社団法人いいたて結い農園

ゆきとも わたる
行友 弥さん

慣れない農作業や草刈りに悪戦苦闘していますが、体験を元に飯舘の魅力や課題を発信していこうと思います。



「もつと現場に出たい」という思いから、震災の翌年に毎日新聞を早期退職。農業系シンクタンクの研究員として被災地復興の調査・研究を担当し、結い農園に出会いました。

profile

フラワーアレンジメント教室

7月9日、交流センター「ふれ愛館」で、『フラワーアレンジメント教室』を開催しました。講師には、保原屋生花店(川俣町)に勤務する原田徹さん(深谷出身)を迎え、夏らしいアレンジメントを教えてくださいました。参加者は、ヒマワリ、バラ、トルコギキョウ、ドウダンツツジなど、色とりどりの花を用いて、植生を活かしたアレンジメントを制作。互いに「きれいに仕上がっているね」「かわいいね」と声を掛け合いました。完成したアレンジメントの素晴らしさはもちろん、いきいきと楽しい時間を過ごしている様子が印象的でした。



原田先生を囲んで集合写真。ヒマワリを中心にそれぞれが工夫を凝らしたアレンジメントが完成しました。

笑顔いっぱいグラウンド・ゴルフスポーツ交流会



参加者37人のうち16人がホールインワン賞を獲得。プレーを楽しみ、笑顔で交流を深めました。

7月13日、いいたてスポーツ公園の屋内運動場で、『第14回村民グラウンド・ゴルフスポーツ交流会兼第22回飯館村老人クラブ連合会グラウンド・ゴルフ大会』が開催され、37人が白熱したプレーを展開しました。杉岡村長、高橋教育長がプレーヤーとして参加し、大会を盛り上げました。

【大会結果】男子の部 1位・佐藤公善さん(伊丹沢)、2位・高野孝一さん(前田・八和木)、3位・佐野幸正さん(前田・八和木)／女子の部 1位・大河内ミヨ子さん(八木沢・芦原)、2位・杉浦オナスさん(伊丹沢)、3位・高木ミヨ子さん(大倉)

SDGsを学ぶドキドキ楽しいサイエンスショー

7月27日、全国で食や科学の楽しさを伝えるSDGs料理研究家のとういんくる星美さんによるサイエンスショーが、交流センター「ふれ愛館」で開催されました。会場には家族連れを始めとした30人余りが来場し、色鮮やかなレインボージュースを作ったり、村の野菜を使った実験をしたりして、科学の不思議を体感しました。

お手伝いを募集すると、子ども達は積極的に手を挙げて実験に参加。最後は、星美さんの「SDGs、みんなで地球を守ろう!」の掛け声に、力強く「えいえいおー!」と返しました。



次々と行われる実験にみんなわくわく!会場が一体となってショーを楽しんでいました。

までいの里のこども園 浴衣や甚平で「たなばた会」



7月7日、までいの里のこども園で『たなばた会』が開かれました。今年は全園児合同の開催で、子ども達が浴衣や甚平に着替え、星の冠をかぶって「わんぱくほーる」に集まりました。

会ではブラックシアターで七夕伝説が上演され、園児一人ひとりが七夕の由来について楽しみながら学んでいました。また、七夕と言えば願い事。「なわとびがたくさん跳べますように」「スクールバスの運転手になりたい」など、思い思いの願い事が書かれた短冊を飾っていました。

いいたて希望の里学園・川井佑理さん 漢検準2級に見事合格!



いいたて希望の里学園の8年生、川井佑理さん(写真中央)が今年6月の漢検(日本漢字能力検定)で準2級に合格。7月22日に担任の飯塚崇先生(写真右)らと役場を訪れ、高橋教育長(写真左)に報告しました。川井さんは「漢字のなりたちを考えるのが楽しい」とのこと。過去問集に出ている漢字を調べながら学習を進めました。高橋教育長は「本当に素晴らしい。これからも挑戦を続けてください」と快挙を讃えました。同学園では漢検の他、英検や数検にも、全員受検で取り組んでいます。

までいの里のこども園 福島ユナイテッドFCサッカー教室



6月26日、株式会社ハヤシ製作所の協賛により、いいたてスポーツ公園で『福島ユナイテッドFCサッカー教室』が開催されました。この日は晴天にも恵まれ、までいの里のこども園の4・5歳児が、清野通仁コーチと鈴木愛翔コーチの指導でサッカーに親しみました。子ども達は、ユーモアあふれる指導の下、元気いっぱいボールを追いかけ、後半の試合では渾身のシュートも。一人ひとりが笑顔を輝かせていました。この教室は秋にも同園といたて希望の里学園を対象に開催される予定です。

いいたて希望の里学園 あいさつ運動が行われました



7月7日、いいたて希望の里学園の昇降口で、飯館村更生保護女性会と飯館村保護司会が『朝のあいさつ運動』を実施。両会から参加した12人が、登校してきた子ども達と晴れやかに挨拶を交わし、パンフレットを配布して更生保護活動の啓発も行いました。子ども達も元気よく「おはようございます」と挨拶を返し、中には会の方と一緒に並び『朝のあいさつ運動』に加わる生徒も見られました。また、高橋教育長も駆け付けて子ども達を笑顔で迎え、両会の活動に感謝を伝えました。

水道法に基づく水質検査について

飯舘村の水道水は、水道法に基づき毎年策定している飯舘村水質検査計画の通り水質検査を行っています。水質検査では、残留塩素濃度や水の色、濁り、臭いといった「味や見た目」については毎日検査を行っており、細菌や化学物質などに関する項目は定期的に検査を行っています。これらの基準をすべて満たしていることを確認したうえで、皆様のご家庭に水道水を届けています。なお、水質検査計画は村HPにて閲覧することができます。

放射性物質の検査体制について

東日本大震災により、平成23年3月20日に滝下浄水場で放射性ヨウ素が965Bq/kg検出され、国の指示により平成23年5月10日まで水道水の摂取制限を行いました。このことから、飯舘村では水道水の放射性物質に対して真摯に向き合い、現在は福島県による浄水の放射性ヨウ素及び放射性セシウムの測定を週1回、水道原水のプルトニウム及び放射性ストロンチウムの測定を年に1回実施しています。一方で、令和3年度からは**村の独自検査で滝下浄水場を24時間体制で、他3浄水場は週3回放射性ヨウ素と放射性セシウムの測定を行っています**。村ではこのように二重のチェック体制をとることで、より安心して水道水を使用していただけるよう努めています。

万が一、放射性物質が摂取制限値を超えて検出された場合、各浄水場に取り付けられた緊急遮断弁で給水を停止できる仕組みになっています。

摂取制限解除後、いずれの浄水場の水道水からも、放射性セシウム等は検出されていません。

■滝下浄水場での測定の様子



原水の濁りをリアルタイムで測定しきれいな水のみ浄水。



浄水場は、職員が毎日チェックしています。



村でも水道水の放射性物質を測定しています。



監視装置により浄水場の状況を管理しています。

さいごに

「水」は生活の基本であり、命の源です。放射性物質は目に見えないことから不安に感じることもあるでしょうが、村ではそのような不安を解消できるよう日々業務に励んでおります。これからも村では安全・安心な水道を通じて、住民の皆さんの暮らしを支えてまいります。

安心・安全な水を村民のもとへ

飯舘村の水道水のお話です。

飯舘村の水道の今とこれから

私たちの暮らしに欠かせない「水」。飯舘村では定期的な水質検査や放射性物質の測定を行い、安全・安心な水道水を水道使用者の皆様にお届けしています。ここでは村の水道水の歴史や水質管理、そして震災後の対応についてご紹介します。

飯舘村の水道の歴史

飯舘村では、昭和47年に草野・深谷・関根など7地区を対象とした「飯舘簡易水道」の給水を開始し、昭和50年には飯樋・八和木など6地区を対象とした「飯樋簡易水道」も運用を開始しました。両水道は、沢水を水源とし、村の生活用水を長年支えてきました。

一方で配水管の老朽化による漏水が増加したことで、1日最大給水量が計画水量をこえ、給水能力は限界に達していました。加えて、農業集落排水施設の整備に伴い、トイレの水洗化が進むことで、将来的な水需要の増加も見込まれていました。

こうした課題に対応するため、村では平成8年度から平成13年度にかけて両簡易水道の統合、水源・浄水場の再整備や配水管の更新、給水区域の拡大を進める「簡易水道統合事業」を実施しました。その結果、現在では「滝下浄水場」「花塚浄水場」「田尻浄水場」の3か所で相互に補完し、安定して給水できるとなっています。

なお、水源については、滝下浄水場と田尻浄水場が沢水とため池、花塚浄水場が沢水となっています。

一方、大倉・湯舟・松ヶ平地区では、昭和62年に創設された「大倉浄水場」が現在も稼働しており、沢水と井戸を水源としています。

また、浄水場の位置や処理能力等により、現在は各給水区域を図1の通りに割り当てて供給しています。

図1：飯舘村給水区域



村民の森あいの沢の夏の夜空。明かりのない場所で見上げていると、次第に小さな星々の瞬きが見えてきて、やがて息をのむような星空に包まれていきます。あいの沢の管理棟の駐車場には、今年、星空を眺めるための手作りのベンチが置かれました。飯館村は、表情豊かな日中の夏空も魅力ですが、夜空もまた格別です。

ふるさと納税に新たな返礼品

「ふるさと納税」とは

「生まれ育ったふるさとに貢献できる」「自分の意思で応援したい自治体を選ぶことができる」納税制度として平成20年に創設されました。大都市と地方の格差の是正や、人口減少地域における税収減対策、地方創生などを主な目的としています。

飯舘村は、皆さんの応援がこもった「ふるさと納税」を、産業振興・教育環境の整備・村民の健康増進・景観向上などに活用させていただいています。

飯舘村の返礼品

飯舘村は、全国の方から、「ふるさと納税」を通してたくさんの応援をいただいています。村は、心を込めて感謝をお伝えできる飯舘村ならではの返礼品をと、村民の皆さんのご協力をいただきながら取り組みを進めており、新たな返礼品がラインアップに加わっています。

感謝を伝える返礼品を引き続き募集しています。

ご検討をされる方はぜひお問い合わせください。 問 村づくり推進課企画定住係 ☎0244-42-1622

現在の返礼品の一覧は、以下インターネットサイトに掲載されています。
ふるさと納税の金額に応じて、返礼品を選ぶことができますようになっています。

飯舘村のふるさと納税、掲載サイトが増えました！

ふるさとチョイス

楽天ふるさと納税

さとふる

ふるなび

auPAYふるさと納税

ふるラボ

KABU&
ふるさと納税

JRE MALL
ふるさと納税

セゾンの
ふるさと納税



飯舘村の日本酒



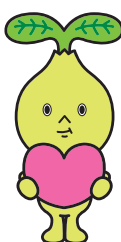
株式会社MARBLING

飯舘村1泊2日特別ツアー
4食ガイド付き

飯舘の環境を旅する
環世界探索紀行



までい工房美彩恋人



極久里珈琲



古今呂の宿福とみ



工房マートル

第7次総合振興計画 策定作業が進んでいます

計画の位置づけ

総合振興計画は、飯舘村が目指す姿とその実現化の方針を総合的・体系的にまとめた本村最上位の計画です。計画書は行政運営の方針書であるとともに、目指す姿・目標を村民と共有し、対外的に村づくりの実現化の方針を表明する、村づくりを進めていくための羅針盤となるものです。村が取り組む全ての計画及び各種事業は、本計画に即して実施します。

現行の第6次総合振興計画の計画期間は、令和7年度末で終了します。第7次総合振興計画は、令和8年度からの10年間で目指す飯舘村の姿を新たに描いて策定しています。

最終の専門部会を開催しました

それぞれの分野について議論を深めてきた「なりわい」「健康」「教育」「生活」の4つの専門部会は、7月16日に第9回の会議を行い、専門部会としての最終案を取りまとめました。

ワークショップと有識者アドバイザーの講評

第9回は4部会合同で開催し、最後の時間まで議論を尽くしました。ワークショップで「各施策分野で目指すこと」を確認し、各部長が発表。有識者アドバイザーの鈴木典夫教授（福島大学）、岩崎由美子教授（福島大学）から講評をいただきました。また、「自分にできること」を書き出して、部会を越えて共有し、新たに生まれた気づきやアイデアを全体にも共有しました。



鈴木典夫教授

6次総は震災からの課題解決といった面が強くなっていたが、今回は「将来こうありたい」その実現のためにどう行動するかという未来志向型でまとめられている。一人ひとりの言葉にこれまで歩んできた道のりと誇りが見えた。若い方からもよいアイデアが出た。外と内をつなぐ人材が大事。役場任せにせず、自分達で外の人と交流し、アイデアを計画書に生かしてほしい。

飯舘村は住民自治の村という印象がある。土の香りのする、個性が見える計画にしていける必要がある。「自分にできること」は、自分に向けてと外に向けての両方で成立する。7次総が成案した後に、自分に何ができるかを探していくことが大事。「楽しくやること」を創るのもよい。そういうプロセスを踏むことで、村全体のよい方向ができていくと思う。



岩崎由美子教授





再エネ事業と地域の共生について意見を交換。第2回は7月27日に開催しました。写真は同6日の初回の様子。

「脱炭素と再エネ事業を知る 「風力発電に関する村民勉強会」

7月6日、交流センター「ふれ愛館」で、『風力発電勉強会』を開催。村民を中心に20人が参加し、専門家の講話に耳を傾けました。初めに、農業・食品産業技術総合研究機構・上級研究員の万福裕造さんが「脱炭素勉強会」と題して講演。続いて、飯館村・川俣町・浪江町の境界周辺で風力発電事業を計画している東急不動産株式会社の佐藤裕真さんが「風力発電事業について」と題して講演。参加者が、脱炭素や再生可能エネルギー事業の意義を、自分事として学び、活発な質疑応答も行われました。



7月7日の七夕開催。ワークショップでは、コメントを書いた付箋を短冊に見立てて意見を出し合いました。

福島県農業総合センターで 飯館村花き勉強会

7月7日、令和7年度飯館村花き勉強会を開催しました。花き栽培に取り組む21人が参加し、村のバスで郡山市の福島県農業総合センターへ。現地で小菊やトルコギキョウの栽培方法などを視察しました。

センターでのワークショップで意見を交わしたり、花きを扱う直売所に立ち寄り感想を述べ合ったり、研修を通して参加者同士が交流を深め、取り組みや課題を共有していました。



表彰を受ける渡邊隊長と隊員の皆さん。住民のための地域安全活動に対する長年の貢献が讃えられました。

飯館村防犯指導隊 隊長はじめ5人に功労表彰

飯館村防犯指導隊の渡邊富士男隊長（飯樋町）、赤石澤富夫さん（大久保・外内）、嘉藤文二さん（白石）、木幡八男さん（比曾）、南相馬地区防犯指導隊所属の杉浦光一さん（伊丹沢）の5人が、南相馬地区防犯協会連合会と南相馬警察署から、防犯功労者の表彰を受けました。

表彰式は7月7日に、道の駅南相馬で行われました。防犯指導隊は、犯罪の無い明るい地域社会の実現に向け、啓蒙活動やパトロールなどを通して地域安全活動に取り組んでいます。

「日本で最も美しい村」連合 長野県中川村で総会

飯館村が平成22年から加盟する「日本で最も美しい村」連合の定期総会が長野県中川村で開催され、杉岡村長が担当職員と共に出席しました。同連合には現在、58町村地域（28町、21村、9地域）が加盟しています。総会に合わせ、「自立のためのむらづくり」をテーマに、基調講演やグループディスカッションなどが行われました。また、中央アルプスを望む中川村や近隣の伊那市高遠町、大鹿町、原村など加盟町村地域の視察も行われ、インバウンド政策における地方の役割にも注目しながら、参加者が意見を交わし、交流しました。



中川村で行われた総会の一場面。壇上最後列左端が杉岡村長。加盟町村地域の首長が一堂に会しました。

ふかや風の子広場で 謎解きイベント開催！

6月29日、ふかや風の子広場で、『謎解き探検イベント』が開催され、「謎解き」を楽しむたくさんの来場者で賑わいました。広場に散りばめられた福島県にまつわる“謎解き”を通して、福島其自然や文化、歴史の魅力に触れることができるイベントです。参加者は、広場をくまなく歩いて問題を探し“謎解き”に挑戦。全問正解者には賞品が贈られました。

広場に家族の笑顔があふれ、子どもと一緒に保護者の皆さんもイベントを存分に楽しんだ様子。「楽しかった」「また来たいです」と話していました。



家族連れの参加者が、協力しながら“謎解き”に挑戦！問題の場所を探し求めて、広場を探検しました。

社会を明るくする運動 メッセージ伝達式

7月1日、飯館村保護司会から4人の保護司が来庁し、『第75回「社会を明るくする運動」内閣総理大臣メッセージ伝達式』が行われました。

この運動は、犯罪や非行の防止、更生について理解を深め、安心安全な明るい地域社会を築くための全国的な運動です。保護司の皆さんからメッセージの伝達を受けた杉岡村長は、「本運動の意義を十分にふまえ、今後も安心安全な『わくわくする楽しいふるさと』の形成に努めていきます」と応え、また、保護司の皆様の取り組みに感謝を伝えました。



伝達式後に記念撮影。保護司を代表して多田仁彦さん（右から2番目／宮内）がメッセージを読み上げました。

ヤングケアラーを応援する寄附

「健康とゴルフを楽しむ仲間の会」が、ヤングケアラー（本来大人が担うべき家事や家族の世話を日常的に行っている子どもや若者）を応援したいと福島市に9万2,310円を寄附し、同市から感謝状を贈られました。

発起人である渡邊富士男さん（飯槌町）が7月22日に来庁し、「ゴルフを共に楽しむ仲間の協力で、今年も善意を届けることができました」と杉岡村長に経緯を報告しました。この寄附活動は、4年連続の取り組みです。



永井川カフェ セタ＆流しそうめん

多彩な企画で村民が交流する『愉快的幸セカフェ永井川』（代表世話人・佐藤俊雄さん／草野）が、7月8日に村民の森あいの沢民家園で「セタ飾り作り＆流しそうめん」の会を開きました。普段は子ども達の活動を見守る側ですが、この日は子どもに戻って大はしゃぎ。14人の参加者が、「セタ飾り作り」と「流しそうめん」を楽しみました。セタ飾りには、「健康長寿」「周りの人達と仲良く」などを願う短冊が、色とりどりに揺れていました。



2025わくわく交流フェスタ

7月13日、白石地区の細川牧場にて、昨年続き2回目の『わくわく交流フェスタ』が開催されました。主催はゲストハウスCOCODA（ココダ）です。株式会社サクラ・シスターズの峯岸ひろさんが司会を務め、音楽演奏やコスプレダンス、福島も娘のパフォーマンス、東京大学の学生によるダブルダッチ演舞など、さまざまなステージショーが行われました。また、乗馬体験など動物と触れ合うアトラクションも人気を集め、会場は子どもから大人まで多くの来場者でにぎわいました。



図図倉庫で「環世界」を学ぼう

株式会社MARBLINGが、図図倉庫の展示をリニューアル。宇宙の誕生から現代までの時間軸を念頭に、飯館村を通して、人間を取り巻く環境世界を学ぶことができる、ユニークで実は身近な展示です。

同社は、展示の解説とフィールドワークを組み合わせた新しいツアーを企画。8月からスタートするこのツアーは、飯館村のふるさと納税返礼品にも認定されています。フィルムイベントやコーヒーイベントなどの開催もあります。皆さんもぜひ足を運んでみては。



森林組合 年度初めの伐採式

6月25日、深谷地区で飯館村森林組合の『令和7年度伐採式及び安全祈願祭』が執り行われました。同組合は昨年続き「ふくしま森林再生事業」を受託し、村内の森林整備を進めます。式では佐藤長平組合長（宮内）が「森の恵みに感謝をしながら、村の林業振興に努めていきたい」とあいさつ。来賓として招かれた中川副村長はあいさつの中で「林業の発展と森林の再生に、森林組合と共に励みたい」と事業推進の決意を述べました。



ボン大学・東京大学が農業視察

東京大学大学院農学生命科学研究科・国際農業開発学コースと、ドイツのボン大学・開発研究センターの合同チームが飯館村を訪れ、村の農業の現状や復興の状況を視察しました。6月18日は佐須地区のブドウ農園を訪問。翌19日には東京大学の学生らがホップを栽培している上飯槌地区の農場を見学し、栽培に協力する大澤和巳さん（上飯槌）と共に、カメラの取り付けや農作業体験、トークセッションなどを行いました。



戸籍にフリガナが記載されることに伴い、確認の書類が送付されます

令和7年5月26日の改正戸籍法の施行により、戸籍の記載事項に、新たに「氏名のフリガナ」が追加されることになりました。

本籍地の市区町村から、戸籍に記載される予定の「氏名のフリガナ」の通知が順次発送されます。**飯舘村が本籍地となっている方への通知の発送は、令和7年8月下旬**を予定しています。

通知が送付されましたら、必ず内容をご確認ください。**記載されたフリガナが認識と一致している場合、届け出は不要**です。届け出がなかった場合には、本籍地の市区町村長が、管轄法務局長等の許可を得て、改正法の施行日(令和7年5月26日)から1年を経過した日(令和8年5月26日)以降に、通知のフリガナを戸籍に記載します。

問 住民課住民係 ☎0244-42-1618

進出企業と既存企業の支援を強化!「飯舘村企業立地等支援補助金」

「企業誘致」と「既存企業の支援」を通して、雇用の創出と経済活動の活性化を目指す『飯舘村企業立地等支援基金条例』が、6月議会定例会で可決されました。村は、この条例に基づき「飯舘村企業立地等支援基金」を活用し、新規企業と既存企業の支援を行います。

深谷地区に整備する産業団地への進出など、新規企業の進出・誘致については村づくり推進課企画定住係(☎0244-42-1613)へ、既存の企業・事業所等の支援については、産業振興課商工観光係(☎0244-42-1620)へお問い合わせください。

企業立地等支援の主な内容

- 用地取得補助金 (村の評価額又は取得価格の40%・限度額3,000万円)
- 工場取得等補助金 (村の評価額又は取得価格の1/2・限度額1億円)
- 機械設備等補助金 (村の評価額又は取得価格の1/3・限度額1億円)
- 福利厚生施設補助金 (村の評価額又は取得価格の1/2・限度額1億円)
- 脱炭素化設備導入補助金 (村が評価した工事費の1/2・限度額2,000万円)
- 私道整備補助金 (村が評価した工事費の1/2・限度額500万円)
- 用地賃貸借補助金 (村の評価額又は賃貸借価格の1/2・年間補助限度額200万円・10年間)
- 工場等賃貸借補助金 (村の評価額又は賃貸借価格の1/2・年間補助限度額500万円・10年間)
- 雇用奨励補助金 (雇用者1人につき30万円・雇用開始日から1年間)
- 定住支援補助金 (雇用者1人につき1年間雇用するごとに30万円・雇用開始日から3年間)
- 村有地の貸付け支援 (村有地への新設工場等に対して用地の賃貸借料10年間無償)
- 操業奨励金 (飯舘村企業立地促進奨励金交付要綱による)

参議院議員選挙 村内の選挙結果について

7月20日に投開票が行われた第27回参議院議員通常選挙について、村内における選挙結果をお知らせします。今回は、期日前投票と当日投票を合わせた投票率が53.57%で、全国投票率の58.51%を4.94ポイント下回りました。また、前回令和4年の参議院議員選挙村内投票率を6.54ポイント上回りました。

- 当日有権者数 4,010人(男2,074人・女1,936人)
- 投票者数 2,148人(男1,164人・女984人)
- 投票率 53.57%(男56.12%・女50.83%)



福島選挙区(定員1)※得票順

森 まさこ	1,023票
石原洋三郎	720票
大山里幸子	306票
遠藤 雄大	37票
越智 寛之	19票

※無効票43



比例代表 ※得票順

自由民主党	726票	チームみらい	9票
立憲民主党	377.961票	再生の道	6票
公明党	200票	無所属連合	5票
参政党	184票	日本誠真会	4票
国民民主党	153.038票	日本改革党	1票
日本共産党	99票	※無効票143	
れいわ新選組	94票		
日本保守党	50票		
日本維新の会	46票		
社会民主党	30票		
NHK党	19票		

※立憲民主党と国民民主党の略称がいずれも「民主党」だったため、「民主党」と書かれた票は按分(あんぶん:得票率に応じて比例配分)され、票数が小数点第3位まで記載されています。

7月の村の動きと主なできごと

- 1日・第75回「社会を明るくする運動」内閣総理大臣メッセージ伝達式(村役場)
- 3日・4日・文化財保護審議会 視察研修(只見町他)
- 4日・19日・第27回参議院議員通常選挙 期日前投票(村役場)
- 5日・成人式実行委員会 交流センター「ふれ愛館」
- 6日・第1回風力発電に関する村民向け勉強会(交流センター「ふれ愛館」)
- 7日・令和7年度第1回飯舘村花き勉強会(郡山市・福島県農業総合センター)
- 9日・フラワーアレンジメント教室(交流センター「ふれ愛館」)
- 10日・第2回学校運営協議会(までの里のこども園・いいたて希望の里学園)
- 13日・第14回村民グラウンドゴルフ交流会(いいたてスポーツ公園)
- 16日・乳幼児健診(いちばん館)
- 16日・第9回飯舘村第7次総合振興計画策定専門部会(交流センター「ふれ愛館」)
- 16日・25日・夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動(村内各所)
- 17日・民生委員推薦会(いちばん館)
- 19日・第27回参議院議員通常選挙 期日前投票 福島市・いいたての交流館/南相馬市・サンライフ南相馬
- 20日・いきいきわくわく学びの旅 第1回事前研修・保護者説明会(交流センター「ふれ愛館」)
- 20日・移住定住イベント「夢みるいいたて村3」トークプログラム(いいたて村の道の駅までい館)
- 20日・移住定住イベント「つなぐ写真館」(ふかや風の子広場)
- 20日・第27回参議院議員通常選挙
- 23日・いいたて村文化祭第2回実行委員会(交流センター「ふれ愛館」)
- 23日・第5回飯舘村第7次総合振興計画策定委員会(村役場)
- 25日・定例教育委員会(村役場)
- 26日・2025年はやま湖まつり(大倉地区・はやま湖畔)
- 27日・自主文化事業「とういんくる星美のサイエンスショー」(交流センター「ふれ愛館」)
- 27日・第4回村長杯パークゴルフ大会(いいたてパークゴルフ場)
- 28日・第2回風力発電に関する村民向け勉強会(いちばん館)
- 28日・文化財保護審議会 交流センター「ふれ愛館」
- 29日・(9月21日執行)飯舘村議会議員一般選挙 立候補予定者説明会(ビレッジハウス)

大倉の神楽 地区に伝わる伝統の神楽

歴史の散歩道

参考 飯館村史第3巻「民俗」

「神楽」は「神座（かむくら）」から転じたとする説が有力で、神を迎える神事が、後世において芸能化したものと言われます。

村では8地域で「獅子神楽」の伝承が確認されています。その多くが中通り地方から伝わったものと考えられています。約500年前から大倉地区に存在するという説もあります。

かつて「大倉の神楽」は、小正月の「村まわり」と、祭礼で奉納されていました。

山津見神社と岩井山福善寺、区長の家を回り、その後3日間にわたって地区の

全戸を巡りました。神楽は「剣舞」や「田植踊り」の前に舞われました。

一方、4月に行われる山津見神社の神事「お浜下り」では、お旅所にて略式で舞い、翌日、神輿が浜から帰った際には、社の前で奉納しました。また、地区の愛宕神社の祭礼でも奉納されていました。

その後、震災による全村避難中の平成25年には、大倉伝統芸能保存会が、相馬大野台仮設住宅の春祭り、中断から復活させた地区の田植え踊りと共に「大倉の神楽」を披露し、故郷の人々を勇気づけました。

現在は、夏の「はやま湖まつり」をはじめ、村や地区の行事でも披露され、保存会では次世代への継承にも取り組んでいます。



令和4年の「はやま湖花火大会」のオープニング。夕暮れの湖畔にて、「太刀のみ」のシーン。



震災による全村避難中の平成25年、相馬大野台仮設住宅で披露された「大倉の神楽」。

ふれ愛館だより

交流センター「ふれ愛館」からのお知らせです。

『リクエスト図書』購入しました

財産断捨離のすすめ
ボケを遅らせ、争族を防ぐお金の使い方



和田秀樹／白秋社

自分らしく老後を過ごしていくためのヒントが書かれている1冊。楽しく、幸せに過ごしていくためにこの本を読んで学びましょう。

五十路で単身地方移住してみた
九年間のふくしま暮らし日記



中川雅美／東京図書出版

東日本大震災の被災地復興支援を...という事で東京から福島に来た著者。移住してきた立場から見た福島での生活についてちよつとのぞいてみてみませんか。

第26回読書メッセージコンテスト

8月10日から読書メッセージコンテストの作品を募集します。1日1ページでも5分でも、読書の時間を作ってみてください。読書は心を豊かにしてくれますよ。

いいたて なりわい REPORT vol.13

村の工場は大切な拠点。仲間を信じ、技術を磨いて、挑戦を続けていこう

株式会社菊池製作所 福島工場



草野地区に7棟の工場を構える株式会社菊池製作所（本社・東京都八王子市）。齋藤政宏製造本部長（前田）は、この福島工場を拠点に、県内の各工場を管轄しています。「令和5年に開所した『おおぞら研究所』（福島市）で研究を、福島工場（飯館村）と川内工場でものづくりを、南相馬工場で組み立てから出荷まで行う、縦のラインができています」。

開発から量産までを行う『総合ものづくり支援企業』として、ロボットの開発・製造にも取り組む同社。一方で、アニメキャラクターのフィ



最新の工場で、約120人が勤務します。



にぎわう食堂。定食・丼物・麺類を選べます。

ギニアの製作を専門業者から受注するなど、新規事業への挑戦も継続しています。「試行錯誤の勉強は面白いです」と齋藤さん。「ものづくりは簡単にはいかないところが楽しいのです」。

創業者でもある菊池功社長は飯館村の出身。「震災時も、村の工場を何としても残すよう、社長の指示がありました。ここは何より大切な拠点なのです」。村内の工場は特例により全村避難の期間も操業を続けましたが、もちろん容易なことではありませんでした。「皆がいたからこそまで来られたと思っています」。

震災後はベンチャー企業への投資にも力を入れています。「一緒に成長したいという社長の考え。国内でそれができる会社は希少だと思っています」。また、社員の交流を通して社内文化を継承すると同時に健康面も大切にしたいと社員食堂を新設。社員に思いをかける会社でもあります。「ここで働く人は素直な人が多い。技術を身に付ける上でも人間性は大切。失敗を恐れず議論や挑戦ができる社風に感謝をしながら、仲間を信じ、技術を磨いて、将来にわたって存続できるよう楽しく仕事をしたいです」。



菊池製作所 福島工場
飯館村草野字向押25-1
☎0244-42-0913

おしゃべりをしながらソフトクリームを作ってくれる愛らしいロボット。ベンチャー企業との共同開発。この夏各所で活躍しました。



皆様の多様な取り組みが ふるさとを育んでいます

第34回

杉岡 誠 村長の

愛楽故郷味

あいらくふるさとみ

創意工夫



県内でも取り分け冷涼であるはずのこの飯館村でも、連日の蒸し暑い気温が続いている盛夏のみぎり、皆様いかがお過ごしでしょうか。

9日・11日には相馬地方町村会による行政視察にて大堀新地町長とともに、熊本県を訪れました。東シナ海に臨む天草郡苓北町は、至る所に素晴らしい眺望があり、仮想空間を利用した移住施策にチャレンジしていました。また熊本地震の影響で一時人口が減少した西原村では近隣の半導体工場の誘致もあって人口が増加していることなどを学びました。特にお子さんの一時預かりをしやすい環境を作ること、働き盛りのご家族の移住を進めていることなど、貴重な知見を頂戴しました。

13日にはゲストハウスCOCODA主催の「第2回わくわく交流フェスタ」が開催されました。福島も娘、川俣コスキン、トモダチプロジェクト、東京大学ダブルダッチサークルのパフォーマンスや音楽の演奏、動物との触れ合い、キッチンカーなどイベントが沢山あり、村内外の方々が楽しまれておりました。また26日には大倉地区で「はやま湖まつり」が開催されました。「大倉の神楽」の素晴らしい演奏、お子さんが太鼓を叩く姿に、伝統の継承と未来を感じました。見応えたっぷりの盛大な花火に、多くの観衆の皆様が思わず歓喜の声を上げておられ、来年への期待の声もお聞きました。多様な主体が創意工夫を実現することが、ふるさとを育んでいます。

13日は「村民グラウンドゴルフスポーツ交流会」も開催され、村民の皆様は腕前と健脚に改めて驚かされました。笑顔で楽しめる皆様は体力には脱帽の限りです。私自身もホールインワンを決めることができ、嬉しかったです。27日は4回目となる「飯館村長杯パークゴルフ大会」が行われ、今回は福島市、二本松市、伊達市からの参加者もいらつしやるなど、村民の元気が他市町村の方にまで伝わっていることに思いがけぬ嬉しさを感じました。健康寿命の増進を目指す村としても、こういったスポーツによる生き生きとした活動に層注力してまいりたく存じます。

来月も飯館村では多くのイベントが催されます。村公式LINEやSNS、お知らせ版、郵送されるチラシをご参照の上、奮ってご参加くださいましたら幸いです。これからがまさに夏本番。適切なエアコンの使用とこまめな水分の摂取が肝要です。夏野菜をはじめ、飯館村の美味しい食材を食べて、栄養補給をしながら、皆様どうぞ元氣にお過ごしください。

『夢みるいいたて村3ど』トークプログラム&つなぐ写真館』開催

7月20日、いいたて村の道の駅までい館で開催された『夢みるいいたて村3ど』トークプログラム。いいたて村移住サポートセンター3どの企画で、飯館村での「自己実現」や「夢」を語り合うシンポジウムです。ゲストスピーカー14人と参加者35人が4つのテーマで語り合いました。また、「つなぐ写真館」の撮影会とマルシェも同時開催し、多くの人が出会いと交流を楽しみました。



「つなぐ写真館」(撮影は出張シロヤマ写真館)の写真より。(上)農業をテーマとした回のゲストスピーカーの皆さん。(下左)トークプログラムの司会を担当したフリーアナウンサーの菅原美智子さん。(下右2枚)「つなぐ写真館」撮影写真の一部。



皆さんが広報委員！

フォト

いいたて PHOTO リレー

月ごとのテーマで写真を募集、エピソードと共に紹介します。



撮影 尾崎勇吾さん

テーマは「ヤマユリ」と「七夕」



「役場の前にきれいなヤマユリが咲いていたので、織姫と彦星の折り紙と一緒に撮影してみました」。そう語るのは、経済産業省から飯館村駐在職員として勤務している尾崎勇吾さん。令和7年7月7日、七夕の日にご入籍されました。奥様とは地元の大阪で出会い、福島と大阪の遠距離恋愛を経て、現在は福島で一緒に過ごしています。「村に派遣が決まった時に最初に相談したのが今の奥さんでした。

その時、『きつといい経験になる』と背中を押してもらい、心の支えにもなりました。村に来ることが、自分たちの仲を一層強めるきっかけになったと思います」と、奥様への思いを語ってくれました。ヤマユリは村の花でもあり、花言葉は「純潔・飾らない愛」です。『1会話に1笑い』を目標に、笑顔の絶えない家庭を築きたい」と語る尾崎さんご夫婦にピッタリの花ですね。

9月号
8/15締切

例えば…「お盆」「スイカ」「夏野菜」「入道雲」をテーマに。

10月号
9/17締切

例えば…「お月見」「キンモクセイ」「敬老」「食欲の秋」をテーマに。

- 写真様式 データ、現物を問いません。
- 写真枚数 1掲載につき1～2枚程度。
- 提出方法 電話で写真の詳細をお聞きした後、相談させていただきます。
- 選考 応募多数の場合は選考します。
- 報償 1掲載につき1,500円。

問 村づくり推進課企画定住係(広報担当:巻野) ☎0244-42-1613

■ ひとのうごき

結婚おめでとう

氏 名	行政区
三 浦 有 矢 さん	草 野
大 槻 美 友さん	

HAPPY WEDDING!



ひとのうごき 令和7年7月1日現在

人 口	今月 (前月比)	6月1日～30日までの人口動態
●男	2,251人(－5)	転入 1人
●女	2,176人(－8)	転出 5人
計	4,427人(－13)	出生 0人
		死亡 8人
世帯数	1,797戸(－5)	(住民基本台帳人口)

(6月21日から7月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へお申し出ください。

おくやみ

氏 名	年齢	行政区
高 橋 静 子 さん	89	長 泥
八 巻 奈於乃 さん	91	上飯樋
圓 谷 キミ子 さん	89	蕨 平
三 輪 美知子 さん	71	関 沢
齊 藤 光 一 さん	100	八木沢・芦原
遠 藤 由 勝 さん	80	大 倉
佐 藤 キ ン さん	81	長 泥

ご冥福をお祈り申し上げます



はやま湖まつり 湖畔に咲く笑顔と大輪の花火

7月26日に開催された『2025 年はやま湖まつり』。大倉行政区・上栢窪行政区（南相馬市）・もりの駅まごころ運営協議会による実行委員会の主催です。村と県の後援、福島県治水協会の協賛もあり、多くの来場者を迎えて賑やかに開催されました。

当日は、地元や実行委員会が屋台を出して祭りを盛り上げ、オーブニングセレモニーでは「大倉の神楽」が披露されました。浴衣姿の子ども達や家族連れが多数訪れ、湖畔の夏祭りを楽しみました。



打ち上げ花火の音が心地よくこだまします。湖面に輝く水中花火との共演。



ダムや土木工事に親しむ体験コーナーも。地元音楽家のステージも華を添えました。会場をわかせた「大倉の神楽」の熱演。

〈編集後記〉

梅雨はあけましたが、激しい夕立がくる時期です。皆さんは「ペトリコール」という言葉をご存知でしょうか。「雨が降った後の地面から立ち上る匂い」を指す言葉です。なんとなく懐かしいような名前がないかと思っていたあの匂いにも、ちゃんとした名前があったことに驚きです。リラックス効果があるらしいので、雨が降った後は、夕空を眺めながら深呼吸をしてみてはいかがでしょう。（巻野）

知る限りでもここ数か月で4組の方が結婚されて村に新しい家庭が増えていくことをとてもうれしく思っています。「ものづくりをする同世代が増えていったら軽井沢や那須のような村になれるのでは」と笑顔で話していた大槻さん。言葉を感じて…こんなに素敵の方が集まっているのだからいつかその日が…と景色が浮かんできました。（星）

インターネット回答で簡単便利に！

5年に一度、全員参加の統計調査

国勢調査 2025

9月下旬から調査員が各家庭に調査書類を配付。10月1日現在でご回答ください。

国勢調査をよそおった詐欺（さぎ）や不審な調査にご注意ください。

国勢調査 2025 検索

<https://www.kokusei2025.go.jp/>

